~ワクワクwellness~

心身魂のお掃除処







縄文遺跡巡り



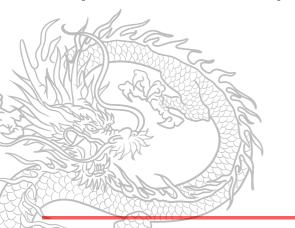


「火焔土器」とは、この1個の深鉢につけられた愛称です。関原町の近藤薫三郎が 1936 (昭和11)年の大みそかに発見した、と伝えられています。 日縁部の装飾的な突起が燃えあがる災をイメージさせることから、その名前が生まれました。

その後、考古学者・中村孝三郎の研究によって、 「火焔型A式1号」と分類され、火焔型土器の 基準資料になりました。新潟県はもとより

WebマガジンB-plus 2024年1月号 記事公開2024年1月10日 https://www.business-plus.net/

お知らせ



1/5		営業始め		
1/6		福山体縣	会	
1/7~	-8	名古屋	気圧法スクー	-リング
1/10		webマカ	ĭジンΒ-plus	記事公開
1/28		護摩祈祷	Ē	



コトタマ幸座 公式ライン



【想念を物質に変化させる 羅針盤】

コトタマの教えというのは

1万年以上も 争いのない生活が続いた

縄文時代の頃の 生き方のマニュアルです

それが**古事記の中**に、神話という物語に カモフラージュされて **練り込まれて**いるのです

先日 縄文遺跡を巡ってきた時に、思ったことです

縄文の頃の人たちと、現代の私たちの生活で 一番違うことは何か?

当時の人たちは今と比べ物にならないぐらい

五感に感じないものを 感じていた・ 意識をしていた

ということだと思います コトタマの教えも

顕在意識では捉えることのできない部分

の説明がその大半になります

はせくらみゆきさんゲストの対談の動画です その中でもみゆきさんが 古事記に練り込まれている コトタマのことに触れていらっしゃいます

彼女は 古事記に込められているコトタマのことを

【精神が物質へと至る道を示した羅針盤】

と表現なさっていました 動画の中盤に出てまいります https://www.youtube.com/watch?v=2 RGMuJf6O4







家呑みトモごはん

【山芋ふわふわ焼き】超簡単 包丁いらず(゜Д°)

- ①山芋(約10cmほど)の皮をたわしでこする
- ②①をビニールにいれたたく(塊少し残して)
- ③②にとろけるチーズ・片栗粉大2 揉み込み混ぜる
- ④フライパンに油を引き③を 両面きつね色に焼く お好みで追いチーズ ~外はカリカリ中ふわふわ~
 - <中に入れるものは変幻自在>
 - *チーズの時は、オリーブオイルで
 - *青ネギ・かつお節の時は、+塩 サラダ油で
 - *干しエビ・ホタテ缶の時は、ごま油で